

越中伝統工芸の最高峰「井波彫刻」と「五箇山和紙」の匠の技の伝承と新伝統工芸品創出事業

概要

南砺市の伝統的工芸品として指定を受けている「井波彫刻」と「五箇山和紙」は高度な伝統技術に裏付けされた作品ではあるが、近年、伝統的な工芸品へのニーズが失われ、消費者・顧客離れが進んでいる。

このことから、若手職人の技術向上・育成を目的に伝承講習会を開催し、また、時代のニーズにあったこれまでにない新しいデザインを求め、デザインコンクールの開催や、他分野のデザイナーとの交流によりコラボ作品の試作に取り組んだ。それらの作品の展示会をホテル椿山荘東京で開催し、首都圏の富裕層にアピール出来た。

事業の内容

- ・伝統工芸現状調査(課題整理)
- ・伝承講習会の開催(彫刻・和紙 各2回)
- ・デザインコンクールの開催
- ・他分野のデザイナーとの交流
- ・「ホテル椿山荘東京」での展示会
- ・販売戦略の検討

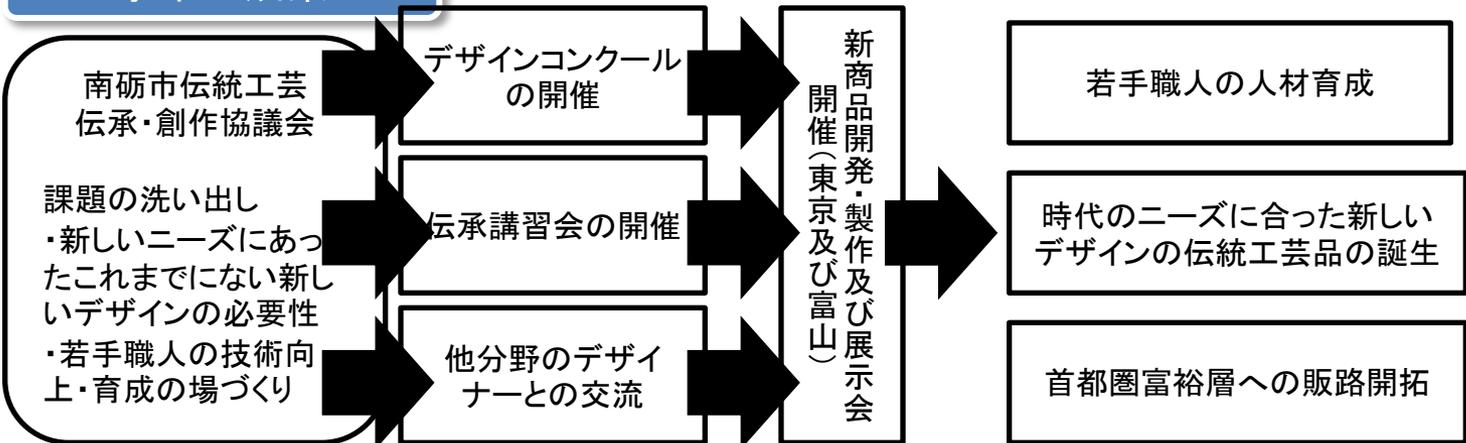
総事業費

12.4百万円

ポイント

- ◆若手職人の育成
→伝統工芸士や日展作家による伝承
- ◆新商品開発、販路開拓
→伊勢谷友介さんが代表を務めるデザイナー
専門家集団「リバースプロジェクト」との連携

事業の成果



富山県南砺市

デザインコンクール入賞作品「日傘」



「井波彫刻」伝承講習会(10/19)



リバースプロジェクトとの交流(10/11)



ホテル椿山荘東京での展示会(2/24~2/26)

